

## 出張町長室（大莞校区／第2回）開催結果概要

- 1 開催日時：令和7年12月17日（水）  
第1部 13時00分～14時10分  
第2部 参加がなかったため中止
- 2 場開催所：大莞コミュニティセンター研修室
- 3 参加者数：4名（第1部4名／第2部0名）
- 4 主な意見と回答

○アクアスの問題は最終的にはどういうふうになるんですか。住民説明会では、いろいろと意見が出たようですが。

（町長）町の考え方としては、あの建物で温泉施設を継続していくことは困難であるという認識です。令和5年度から外部委員会を立ち上げ、諮問に対する答申をいただきました。ただ、温泉の泉質はすごくいいということで、地域資源という形で、また健康増進の面からも、やっぱり温浴施設も必要だろうということで、附帯施設として、温浴施設を設置することとしています。改修をするにしても18億円以上かかるという試算が平成29年の調査で出されています。その額はどう袖を振っても出てこないもので、もう少しコンパクトに、温浴施設も備えた健康福祉の拠点にするというのが考え方です。

○結局、あの建物は縮小するということですか。

（町長）そうです。建物を建てる時の費用もですが、ランニングコスト、維持管理も考えていかないといけないので。今の建物は3,000㎡あります。令和5年度の答申の中では4分の1程度ということですが、それでも800㎡弱の面積は確保ができます。もともとアクアスが建つ前は憩いの家だったと思いますけど、町民利用を基本としていきます。今、修繕費用を500万円、維持管理費用を800万円、合計1,300万円ぐらいの町のお金を出しています。それで施設自体が持てばいいんですが、もともとの構造的な問題もありますし、老朽化もしています。建物自体の耐久性はありますが、18億円かもける施設ではないと思っています。また、大規模改修を行う場合、一定期間は休館をしないといけない状況にはなると思われますので、それらも含めて、手を入れたり、お金を入れたりすることが必要な温泉施設ではなく、今のアクアスの機能を残しつつ、コンパクトに機能性のある建物を作った方が今後のためになるのではないかという考え方です。

○工事が始まると長期間使えなくなるのですか。

（町長）工事は2年ぐらいを予定しています。その間は、例えばですが、三瀨町の健康

福祉センターや筑後市の温泉施設など、そういったところで振り替えることも考えています。ただ、健康づくりについては継続的にできる状態にはしないといけませんので、2階の銀河の間で行われている「お気楽サロン」などは、こっぼ一っとホールや健康棟のアリーナを使って継続していくことを考えています。ただ、今の状態で大規模改修しても相当期間の休館が必要になります。

○今の施設を壊して建替える経費と新たな施設の運用経費と、今の施設をリニューアルする経費と運用経費を比較ができるものがあるとイメージしやすく、分かりやすいと思います。

(町長) 具体的な数字として今比較することはできませんが、令和5年度の外部委員会において、ハード面とソフト面の評価が行われました。その結果は答申に示されていますが、それを踏まえるとこれ以上の投資は考えにくいと思っています。しかしながら、住民の皆さんの、温泉は残すべきという意見を踏まえこのような判断をしておの方針です。恐らく30年前は社会資本の整備が全国的に終わり、何か特徴のあるものでふるさとを活性化しようという機運の時だったと私は記憶をしています。その一つが福祉目的の温泉施設であったりして、各地で温泉が掘られて、温泉施設が作られていました。それが今では老朽化し各地で問題となっています。なぜかと言いますと、庁舎や学校、体育館などの公共施設がありますが、自治体にとって公共施設としての温泉施設はあってもなくてもいい施設になっています。ただ、大木町では町の特徴として作られた施設なので、私は廃止じゃなくて、機能を縮小しながらこれから先を見据えて建て替えるという方策を選びました。これは外務委員会の評価でもありましたし、令和6年度の報告書にも沿っています。これがこれまでの経緯です。最近、篠栗町にも同じような温泉施設がありますけども、これから改修費用6億円かかるということで廃止しますという報道がありました。やはり、当時は21世紀を目の前にして成熟社会の到来だということでしたが、今では、少子化の問題や高齢化、担い手不足など、当時計画されていた時は予想されなかった社会状況になっています。単に今の施設を改修するだけでは今の時代には合わないと思います。

○施設の雨漏りは建設当初からあったのに、なぜ早くから手を打たなかったのかと思います。

(町長) 定期的にも外壁や窓のコーキングを行うにしても、形状的に足場も簡単に組めないで、そういう費用もかさみ踏み切れなかったというような状況もあったようです。デザイン性はあるんでしょうけど、機能性が足りなかったのではと思います。

○大きな屋根を立てて雨漏りを防いで。

(町長) そのような意見もありますが、雨漏りのほか、地下ピットへの漏水や機械や設

備の老朽化の問題もあります。それから、改修に費用をかけるとしても、改修に使える補助事業がないというのもあります。建て替えだと、地方創生の交付金などをうまく使うことができます。なるべく自主財源の投入を少なくするためにも、そちらの方がいいのではと思っています。

○各校区で説明会では反対の意見が多かったと聞きますが、賛成する方や、賛成する意見はなかったのですか。資料をずっと読んでいるのですが、手続き的にアンケートや意見を踏まえた上で進められており、突然のことではないような気がします。

(町長) その辺りは、行政側としては丁寧にはやってきたつもりです。議会の方にも説明を行い、質疑も受けてきました。しかし、いざ説明会を行うと、利用者や関係者がアプローチされてこられるということもあります。アクアスの温泉の方は6割が町外者で町内が4割ということを踏まえて検討し、4分の1程度でも十分できるという答申でしたが、現時点でのアクアスの会員数やプラスアルファを考えると、あまり大きく施設を作るとどうしてもコストがかかってきます。コストをかけると他のところに使えなくなるというところが出てきますし、財布の中身は決まっていますので、当然借金にしても、後年に負担が出ないようにと考えています。やはり、公共施設であっても、優先順位が高いものからじゃないと納税者は納得されないのではないと思っています。

○荒牟田で令和5年度に護岸を整備する計画がありましたが、その後の魚類調査で計画が止まっています。その魚類調査の結果も分からないし、洪水の復旧などで算がないという話もあり、護岸工事が止まっています。私は区長なので計画の状況を住民の方から聞かれますが、どうなってる分からないし、そういう途中経過や現状などを知らせてもらおうと、ありがたいなと思うのですが。

(町長) 今、建設水道課に護岸整備の要望が相当入ってきています。過去のものからすると大分ありますが、なかなかその要望に対するキャッチボールが上手にできてないですね。承った後の経過や工事の進捗状況など区長会などを通じて行うことが必要だと思います。建設水道課も人数も限られてますし、今の現場を持ちながらやっぱりやっているんで、うまく報告がいつてないというのは私も感じていますので、そういうご意見があったということは伝えておきたいと思います。

○柳川市の二塚小学校の西側の道路が工事広くなっています。目野酒造辺りまで広がっていますが、そこから大木町までつなぐという計画はないですか。つながると利便性が良くなると思います。こういう道路は高くなっているから、5、6月の大水の時にも安心ですし、道路が出ると人の流れも変わってきます。ぜひ将来のために道路をつないでほしいと思います。

(町長) 私が就任してからはそのような話は聞いていません。確認はしてみますけど、多分ないと思います。柳川市の松永市長には聞いていませんが、蒲池の方なのでこちらの地域に関心があるかもしれません。

○大莞校区の各地区の児童数の状況は少ないですが、以前からすると、徐々に増えてるようです。今は130人くらいですが一時は110人を割るくらいの児童数でした。この状況ははとていいことです。絶対、この大莞小学校をなくさないでください。町として考えておいてください。

(町長) そういう計画は全くございません。まったく頭のなかにはないです。

○小規模な学校だと、子どもたちが切磋琢磨、競争ができないと言われますが、私はそう思いません。学校の統廃合にそういう理由が使われることがあります。子ども達の実際の成長の中でマイナスにはならないと思います。町内に中学校は1校だから、中学生になれば一緒になれる。ここは規模が大きくなかったおかげで、良かった面もいっぱいあります。それはここで育った人たちがそう思うのかもしれませんが、やはり学校がなくなれば、新しく住もうと思う人もいるはずがないと思います。保育園もしっかり整備されていますから、小学校は今の形で残していただきたいと思います。

○大川市の三又小学校も統合されましたが、小学校の前を通ると、手入れがされておらず、運動場には雑草が生えていて寂しい限りです。そういう風景を見ただけで、絶対こういうふうにしてはいけないと強く感じています。

(町長) 学校を統廃合するも計画も全くございませんし、現在、計画的に各小学校の大規模改修を行っています。

○大莞郵便局がなくなりましたが、事前に何らかの話があったのですか。

(町長) 皆さんよりも少し早めにお知らせはありましたが、あまり変わらない時期でした。1年前とかではなく2か月ぐらい前ですかね。上で決定がされたと。私の方から、ATMだけでも置けませんかという要望は伝えましたが、それもちょっと難しいということでした。

○活性化委員会などで話を聞くと、デジタル化の話もちょっと出ています。介護の支援などで動けない方にタブレットなどを配って、依頼があったら必要なものを持って行くとか、デジタル使ってサポートができないのかというようなことです。買い物支援だけではなく、お医者さんとリモートで話ができるとか、そういったトータル的な支援がある程度できないかというようなことも委員会の中では出ています。ただ、なかなか実現してない。Wi-Fiなどインフラの整備になってくるから具体的に難しいと

と思いますが。

(町長) タブレットは中学校で使っている授業用の端末タブレット1,000台の入れ替えがあります。3月に全部総入れ替えをしますが、その後の利活用を今検しています。通信料の負担などの問題がありますが、そのような活用も検討のひとつにしたいと思います。Wi-Fiを全域で整備となると、民間事業者もいるので少し難しいのではと思います。ただ、コロナの時に使ったWi-Fiのルーターが教育委員会に200台近くあります。そのルーターにSIMカードを購入して差し込めば端末につながれるようになりますので、SIMカードの購入をだれが負担するかという問題もありますが、活用はできますので、大莞の活性化委員会で少し検討をしていただければと思います。また、現在、DXの推進ということで、行政のDXの仕組みを作るためヤマトシステム株式会社から職員が派遣されています。その方をぜひ紹介したいと思います。

○この前、県の方から女性参画のアンケートが来ていました。女性の進出をどのように考えているか、区に女性の役員が何人いるかなどの内容でしたが、町の方でもそういうふうなことを進められていますか。

(町長) 町では、男女共同参画の計画がありまして、その計画の行動目標の中に、審議委員会、例えば消防委員の女性委員とかその割合や、女性管理職の割合などの目標値があります。自治区の移行の時にも女性の役員をお願いしますというのもあったと思いますけど、そのような計画を立て目標に向かって進めています。

○私の地区の役員は11名のうち4名が女性ですが、私は女性は何パーセントとか何人っていうのにこだわらなくていいのではと思います。人物そのものでも評価していけばいいのではと思います。

(町長) 個人的な見解でいうと、区長には女性はなりにくいのではないかと思います。それは、制度的に世帯に一票なので、これが平等にみんなで入れれる票であれば、ちょっと変わるのかもしれませんが、どうしてもそれがあると思います。一方、地域づくりやまちづくり、ボランティア団体というのは、男性女性関係なくできるのではないかと思います。みんなで支え合うというのが地域づくりなので。

○男女平等的なレベルで言うと、学校では問題はないです。ところが、社会に出て働き始める中で格差がすごくついてくる。そういう感覚がしっかり残っている。

○学校においても、当然区別するところの区別は必要ですが、不必要に男女を分ける必要はないと思います。先生方がそこを意識してやればそんな難しくはないはずです。これから育っていく子どもたちに変に必要のない男女の差をつけるのはよくないのではと思います。

(町長) この感覚を本当に変えていかないと行き止まってしまいますような気がします。女

性の力も本当にそうですし。フィンランドなど参画社会が進んだ国では、小さな国ですけど、非常に高い生産性があったりします。働き方改革もあって、同じような働き方を今やっているのに、だんだんそういうふうになてくるのかなという感じもしますが、やはり人口減少するなか、みんなで持ちこたえるためには、参画のやり方が求められているのではないかと考えています。

○今、テレビなどで地方交付税の格差の話がでています。3割自治など言われますがどのような状況ですか。

(町長) 自主財源は5割程度で、税収はこの前の決算で16%程度でした。ふるさと納税も同じくらいなので、そのふるさと納税がなければ、今言われたように3割程度になります。先日、知り合いの東京のシステム会社の社長に、データセンターの大木町への誘致について話をしてみました。東京からのアクセスが課題で、やはり大阪くらいでないといけないそうです。この辺りは災害も少ないし、償却資産に係る固定資産税も見込めるのでどうかと思ったのですが、人材採用がしにくいこともあり、比較的大きな事業所は来にくいようです。そのような状況ですが、今後も「営業」はしていきたいと考えています。